

特集 II

市民の期待を担う！ 新市議会議員15人の抱負

情報課 広報広聴係 ☎75-2280

4月の市議選は、平成19年以降から16人となつてい
た定数を削減し、15人を定数として行われました。無
投票であつたため、市の将来を語る立候補者の声が聞
けなかったという市民の声に応え、新市議15人に、今
期4年間の抱負を聞きました。(敬称略、丸数字は当選
回数、掲載は右から縦に議席番号順)

また、5月10日に行われた市議会臨時会で議長、副
議長が決定しました。

議長 長 山本 茂雄
副議長 中島 慶子



かばしまえいじろう
樺島永二郎 ②
(東多久町)

私たちは、より良い未来へ繋
いで行かなければなりません。
「人・地域・自然・文化を活かす」
を常に考え、魅力を引き出し、
次の世代に誇りを持って引き継
いでもらえる住み良い多久市を
目指し全力で取り組みます。



いけもり やすひろ
飯守 康洋 ⑥
(西多久町)

「安全・安心な故郷づくり」「誰
もが、心豊かに自分らしく生き
る事のできる福祉の充実」「子育
て環境と教育の充実」「明るく・
元気に・楽しく・輝ける長寿社
会づくり」に経験と熱意で取り
組めます。『民、無信不立』



くにのぶ よしひさ
國信 好永 ④
(東多久町)

老若男女、市民は市の財産。
3期12年間人口減少に歯止めを
と言い続けて来た。大学、専門
学校、若者向けの公営住宅、道
路建設などの提案をした。批判、
お叱り、お褒めの言葉が沢山あつ
た。夢のある多久市を創りたい。



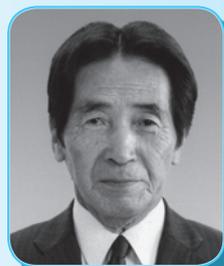
なかしま けいこ
中島 慶子 ⑤
(多久町)

子ども達の未来とみんなの明
日に「夢の持てるまちづくり」
への誓い!!①安心子育て・教育
環境整備②介護や福祉・健康施
策の充実③人と地域資源活用で
多久の更なる活力向上を目指し、
熱意と真意で取り組みます。



の きた さとる
野北 悟 ④
(北多久町)

高齢者による重大な交通事故
が問題化する中、免許証の自主
返納者は年々増えています。買
い物や通院などの市民生活を支
える公共交通として、ふれあい
バスの路線を見直し主要部分の
循環ルートを作る等、利便性を
高めたい。



た ぶち あつし
田淵 厚 ③
(東多久町)

少子高齢化の様々な課題は、
空き家、交通弱者、地域行事の
衰退などがあり、どう解決する
かは多久市の喫緊の課題です。
その小さなモデルを地域で取り
組んでいます。想いはいつも地
域(多久市)の明日のことです。



た なか ひでゆき
田中 英行 ⑥
(北多久町)

時代の変革に伴う諸問題に迅
速に対応し、住民意思を的確に
市政に反映させるため、これま
での人との交流、経験を踏まえ、
皆様と共に考え、政治を身近な
ものにし、豊かさを実感できる
多久市の実現に力を尽くします。